

視点	視点に基づく「相互理解、寛容」における、自己への問いかけを深める中心発問例
相手との関係 (視点4)	<ul style="list-style-type: none"> 自分と仲のよい人は許して、仲のよくない人や関わりのない人を許さないのは心が広いと言えるのだろうか。
理由の正しさ (視点6)	<ul style="list-style-type: none"> 主人公は、どうして○○を許すことができたのだろうか。 許さないと教室（社会）では、どんなことになるのだろうか。 主人公は、どうすれば○○を許すことができるのだろうか。 主人公と○○が、よりよい関係になるためには、これから、どうすればよいだろうか。

「人を『許す』『許さない』を判断する際の根拠となる視点」及び「望ましい人間関係を築く視点」

自分や相手の視点 (視点1～視点4)

- 視点1 傷付いたのは誰か (傷付きの有無)
- 視点2 失敗したのは誰か (失敗の有無)
- 視点3 謝ったかどうか (謝罪の有無)
- 視点4 仲がよいかどうか (相手との関係)

社会的な視点 (視点5、視点6)

- 視点5 誰にでも起こり得るか (行為の背景)
- 視点6 誰でも納得する理由か (理由の正しさ)

月 日 曜日

資料名 【 】

自己
評価

①学習の内容はわかりました。

②6つの視点を使って考えることができたか。

③特に、どの視点を使って考えましたか。

④友達と学び合うことができましたか。

今日の学習で分かったことや考えたこと（6視点から）

今日の学習で分かったこと

今までの自分との比較

主人公からの学び